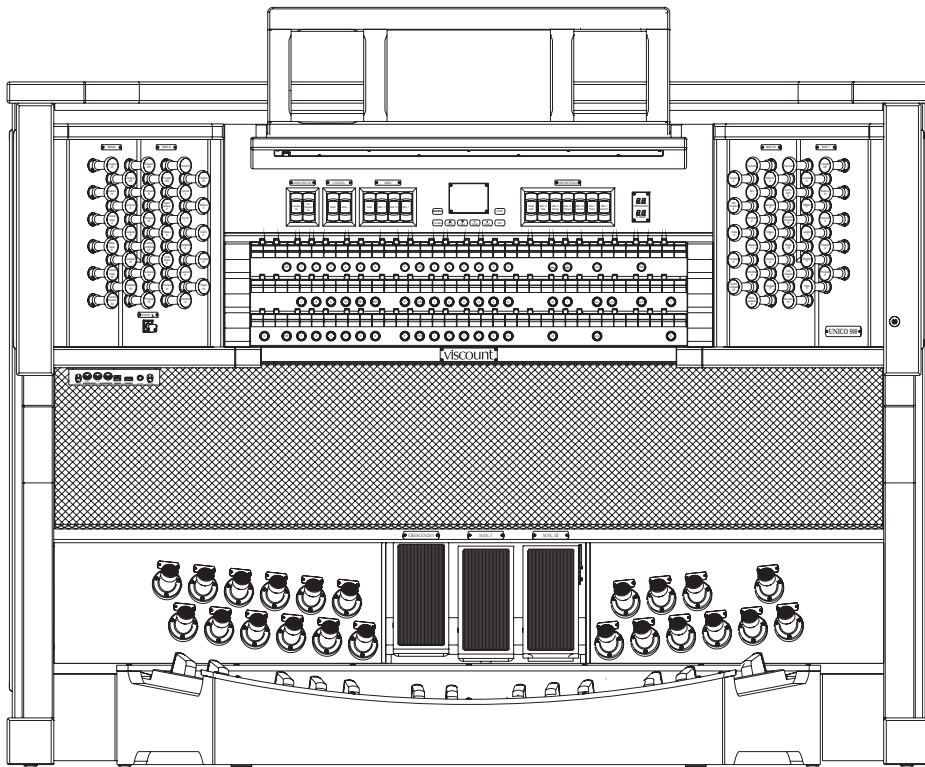


# viscount® Classic Organ

## UNICO 500/400/300



### 取扱説明書

# 安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


## ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。


	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 **警告**

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 **注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

## ■ 本体に表示されている注意マークについて

本体には、次の注意マークが付いています。



これは、以下の内容の注意を喚起するものです。

「感電防止のため、パネルやキャビネットを外さないでください。内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。」

## 警告

### 電源 / 電源コード



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

### 分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。

### 水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

### 火に注意



禁止

本体の上ろうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

### 異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

## ⚠ 注意

### 電源 / 電源コード



**たこ足配線をしない。**

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

禁止



必ず実行

**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。**

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

**長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。**

感電や火災、故障の原因になることがあります。

### 設置



**不安定な場所に置かない。**

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかげがをしたりする原因になります。

禁止



**本体を壁につけない。**

換気が十分でないと、本体内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。壁から3cm以上離してください。

禁止



必ず実行

**この製品を持ち運びする場合は、必ず2人以上で行なう。**

この製品を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めたり、この製品が落下して破損したり、お客様やほかの方々がかげがをしたりする原因になります。



必ず実行

**本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。**

コードをいためたり、お客様やほかの方々転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

**この製品を電源コンセントの近くに設置する。**

電源プラグへ容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 接続



必ず実行

**すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。**

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

**演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。**

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

## 取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。  
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネルや鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。  
感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、オルガンの構造やコントローラー（ノブ、ボタンなど）、入出力端子などに無理な力を加えない。  
本体が破損したり、お客様やほかの方々がかげがをしたりする原因になります。

## ベンチ



禁止

不安定な場所に置かない。  
ベンチが転倒して、お客様やほかの方々がかげがをする原因になります。



禁止

ベンチで遊んだり、ベンチを踏み台にしたりしない。  
ベンチが転倒したりこわれたりして、お客様がかげがをする原因になります。



禁止

ベンチには二人以上ですわらない。  
ベンチが転倒したりこわれたりして、お客様がかげがをする原因になります。



必ず実行

ベンチのネジを定期的に締め直す。  
ベンチを長期間使用すると、ベンチのネジがゆるむことがあります。ネジがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。



必ず実行

ベンチの脚で床を傷つけないよう注意する。  
ベンチの下にマットを敷くなどして、床を保護されることをおすすめします。



必ず実行

小さなお子様の後方への転倒に注意する。  
背もたれがないため、後方へ転倒してけがをするおそれがあります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

---

# 目次

---

<b>1. 重要な注意事項</b> .....	<b>8</b>
1.1 製品の取り扱い/お手入れに関する注意 .....	8
1.2 データの保存に関する注意 .....	8
1.3 データの著作権に関するお願い .....	8
1.4 取扱説明書に関するお知らせ .....	8
<b>2. イントロダクション</b> .....	<b>9</b>
<b>3. 各部の名称とはたらき</b> .....	<b>10</b>
<b>4. 電源を入れる/メインページ</b> .....	<b>15</b>
<b>5. ボリュームの設定 (VOLUME CONTROLS)</b> .....	<b>16</b>
<b>6. 本機のチューニング (TUNING メニュー)</b> .....	<b>17</b>
<b>7. オルガンのスタイル (STYLES メニュー)</b> .....	<b>18</b>
<b>8. ボイスの選択と調節 (VOICES メニュー)</b> .....	<b>19</b>
8.1 ボリュームの調節 (VOLUME LEVEL 機能) .....	19
8.2 オーディオパラメーターの調節 (EDIT PARAMETERS 機能) .....	20
8.3 交換ボイスの選択 (ALTERNATIVE VOICE 機能) .....	21
<b>9. 一般設定 (SET-UP メニュー)</b> .....	<b>23</b>
9.1 背面のオーディオアウトプットのボイスルーティング設定 (EXT. OUT ROUTER 機能) .....	24
9.2 背面のオーディオアウトプット的环境設定 (EXT. OUT CONFIG 機能) .....	25
<b>10. ユーティリティおよび MIDI 機能 (UTIL. &amp; MIDI メニュー)</b> .....	<b>27</b>
<b>11. ファイル管理機能 (FILE MANAG. メニュー)</b> .....	<b>28</b>
<b>12. 録音と再生 (SEQUENCER)</b> .....	<b>29</b>
12.1 曲の再生 (PLAY モード) .....	29
12.2 曲の録音 (RECORD モード) .....	31
12.3 ソングリスト (SONGLIST 機能) .....	33
12.4 シーケンサー再生オプション (PLAY OPTIONS モード) .....	33
<b>13. 付録</b> .....	<b>35</b>
13.1 ストップのローカルオフ .....	35
13.2 ファクトリーセッティング .....	35

# 1. 重要な注意事項

## 1.1 製品の取り扱い / お手入れに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- 直射日光のあたる場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。
- 本体を手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色 / 変質する原因になりますので、使用しないでください。
- ベンチを手入れするときは、乾いた柔らかい布、または水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは、変色 / 変質する原因になりますので、使用しないでください。
- アンプや拡張システムに接続するときは、必ず高品質のシールドケーブルをご使用ください。
- 電源コードはアース付きのコンセントに接続してください。

## 1.2 データの保存に関する注意

- 本体に保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、USB メモリースティックに保存してください。
- 保存した USB メモリースティックの万一の事故に備えて、大切なデータは予備の USB メモリースティックにバックアップとして保存されることをおすすめします。

## 1.3 データの著作権に関するお願い

- ヤマハ（株）および第三者から販売もしくは提供されている音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

## 1.4 取扱説明書に関するお知らせ

- 本書のいかなる方法による無断複製・転載を禁じます。
- 本製品のすべての機能を使い、演奏をお楽しみいただくため、この取扱説明書をよく読んでご活用ください。
- この取扱説明書は大切に保存してください。
- 仕様、付属品および外観について、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。実際の仕様と異なる場合があります。
- 本書では各部（ノブ、ボタン、端子など）の名称を [ ] で囲んで表示します。例えば、[ENTER] は ENTER ボタンのことを意味します。
- この取扱説明書では、本書制作時のオペレーティングシステムバージョンにおける操作方法を説明しています。安心してお使いいただくために、日本国内では技術者が訪問してアップデートをお願いしております。アップデートをご希望のお客様は、販売店にお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。
- 以下のウェブサイト、オルガンの機能が詳しく説明されているリファレンスマニュアルを参考にしてください。マニュアルは以下のサイトからダウンロードできます。  
<http://www.physisorgans.com/>
- MIDI は社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

## 2. イントロダクション

### ごあいさつ

バイカウントオルガン UNICO をお選びいただき、まことにありがとうございます。

バイカウント社は、高級クラシックオルガンの世界のリーダーで、最新のハイファイ技術を駆使して、先進的で最も洗練されたパイプオルガンの音色再現を可能にし、柔らかく印象的で高品質な音色を搭載したパイプオルガンを完成させました。

年月を重ね音源の生成技術を探求しているバイカウント社の研究開発部は、物理的なモデリングテクノロジーを採用した「フィシス」の技術を使うことによって、世界で最初にパイプオルガンの音色を生成することに成功しました。

以前より標準的に用いられてきた「パイプオルガンの音サンプル」を使うという手法の代わりに、この革命的な音源システムはシステムから発生する音の周波数をリアルタイムに計算し、主要な物理的なパラメーター、例えば構造物の幾何学的形状、使われた材料、風圧などを解析して、正確で数学的なモデリングを行うことにより荘厳な音を生み出しています。

記憶された「音」を単純に再現する方法とは異なり、伝統的なパイプオルガンのみが生み出せる詳細な響きを再現することにより、想像を超えたレベルまで実際の音に近づけた緻密な表現力が達成されました。

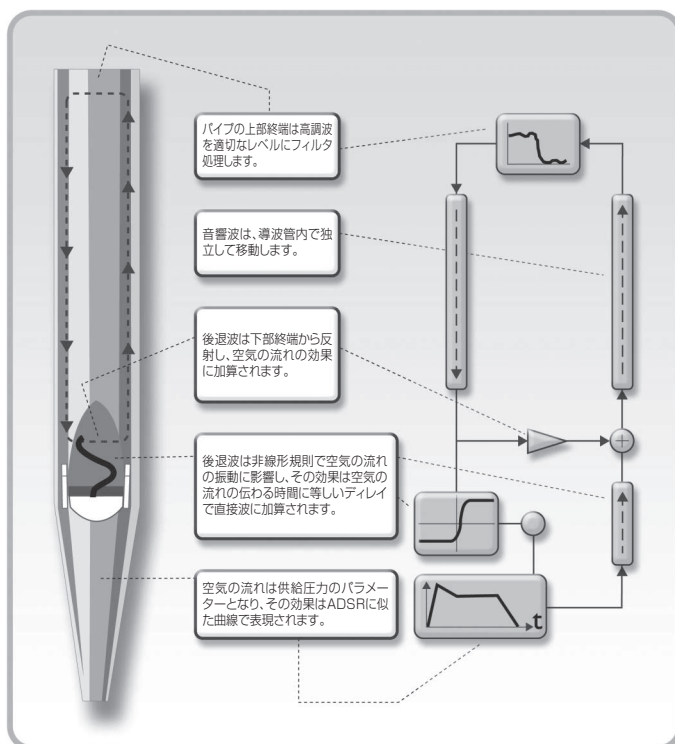
例えば、実際のパイプオルガンがそれぞれのキーごとに異なったパイプを割り当てるように、オリジナルの楽器同様、音色を仮想的に再現し、計算された音源によりそれぞれのキーに異なった音を提供できます。さらに、キーが継続して押された場合、パイプの中の風圧の状態を正確にシミュレートして、同じキーの場合でも連続したプレッシャーにより変化する音を生成します。

オルガンの制作者がたくさんのパイプを製造するように、UNICO では作り出される膨大な音のパラメーターを編集し、「物理的」に調整することが可能です。もし音の「編集」に時間をかけたくない場合、オルガンのメモリーに搭載されているライブラリから、プリセットされたパイプオルガンのボイスをあなたの音として選択できます。

また、以下のウェブサイトアクセスすると、バイカウント社製品に関する情報、アップデート、ドキュメントやニュースなどを入手できます。

<http://www.viscount-organs.com/>

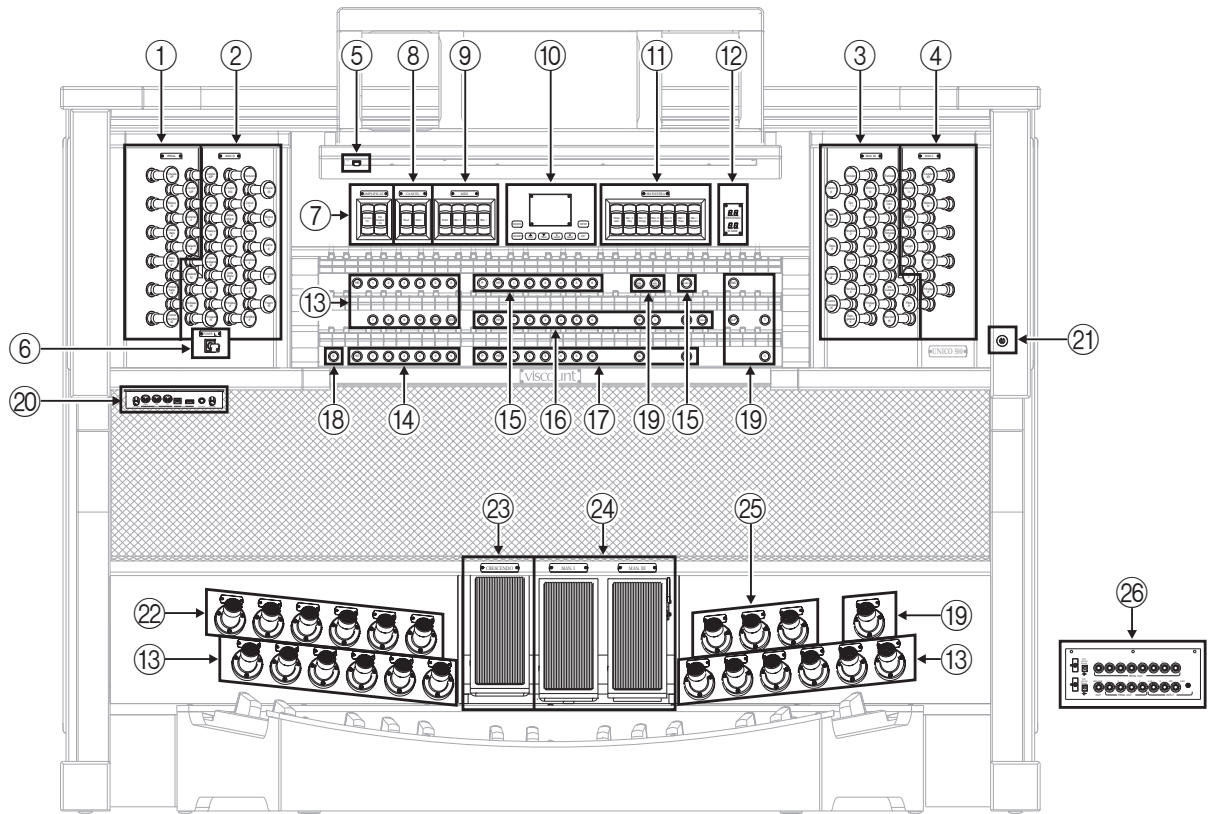
<http://www.physisorgans.com/>



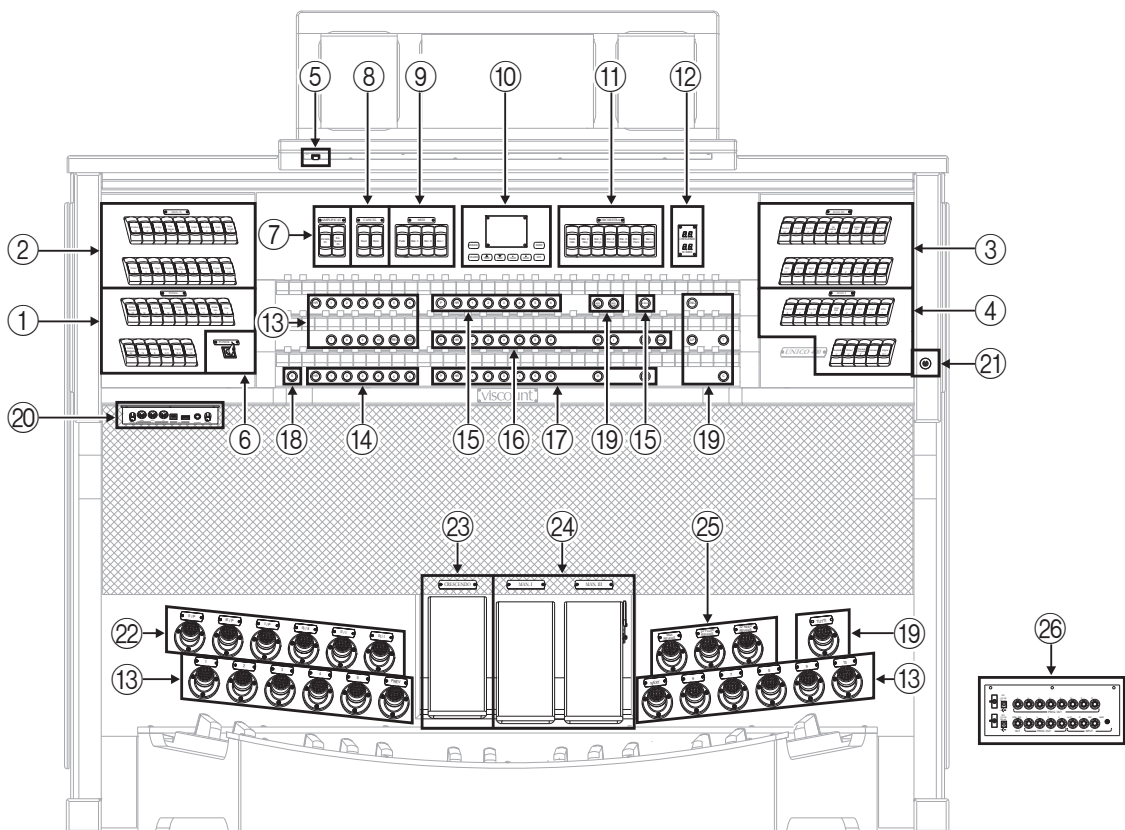


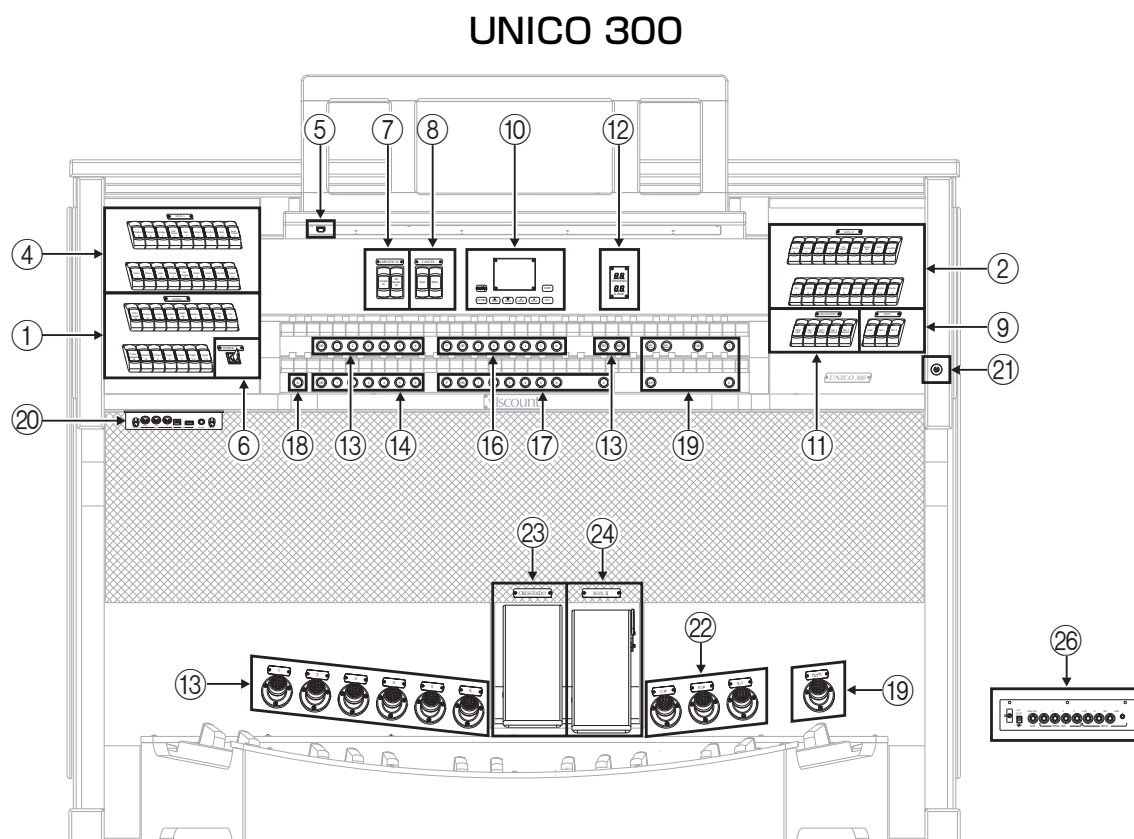
### 3. 各部の名称とはたらき

#### UNICO 500



#### UNICO 400





(番号は 10 ～ 11 ページのイラストに対応しています。)

### ① 足鍵盤セクション

足鍵盤のストップと、手鍵盤を足鍵盤にリンクするためのケーブルを含みます。

### ② 第Ⅱ手鍵盤セクション

第Ⅱ手鍵盤のストップ、手鍵盤ケーブル (UNICO 500/400)、トレモロ装置を含みます。

### ③ 第Ⅲ手鍵盤セクション

第Ⅲ手鍵盤のストップおよびトレモロです。

### ④ 第Ⅰ手鍵盤セクション

第Ⅰ手鍵盤のストップ、手鍵盤ケーブル、トレモロです。

### ⑤ 照明ボタン

譜面台と手鍵盤の照明をオン/オフします。

### ⑥ 電源スイッチ

本機の電源をオン/オフします。

### ⑦ アンプセクション

オルガンのアンプコントロールです。

- ・ [CONSOLE ON] : 本機内部のアンプシステムをオンにします。
- ・ [EXT. SPEAKER ON] : 本機背面 (⑳ 項) の [PROG. OUT] 端子からの外部出力を有効にします。

### ⑧ キャンセルセクション

すべてのリードボイス ([REEDS] タブ) および MIXTURE ボイス ([MIXTURE] タブ) を無効にするキャンセルボタンです。

### ⑨ MIDI セクション

手鍵盤および足鍵盤のノート MIDI コードを MIDI [OUT] ポートから出力するか、または無効にするかを設定します。ここで MIDI コントロール設定をオフにしても、その他のすべての MIDI メッセージの送信は行われます。

### ⑩ コントローラー&プログラミングセクション

本機の設定およびシーケンサー機能の状態を確認し、プログラミングするためのボタン類とディスプレイです。

### ⑪ オーケストラセクション

オルガンのオーケストラストップを含むセクションです。

### ⑫ その他のディスプレイ

- [CRESCENDO] : [CRESCENDO] ペダル (⑫ 項) を踏み込んだ時の段階を示します。
- [M. BANK] : [MEM. BANK +] / [MEM. BANK -] ボタン (⑩項) を使用して選択したコンビネーション (全体およびカスタマイズ) のメモリーバンク番号を表示します。

### ⑬ ジェネラルボタン

これらのボタンおよび足ピストンは、[MEM. BANK +] / [MEM. BANK -] (⑩項) を使用して選択したメモリーバンクの全体コンビネーションを呼び出します。これらのコンビネーションは変更できます。保存の方法については、⑩項を参照してください。

[HR] は、メモリーを呼び出す前にマニュアルモードで設定したボイスを復元します。

全体コンビネーションのシーケンサーコントローラーも使用できます。[PREV] で降順、[NEXT] で昇順に表示されます。

### ⑭ 足鍵盤ボタン

6 種の足鍵盤コンビネーションと、メモリーを呼び出す前にマニュアルモードで設定したボイスの設定を復元するための [HR] コントローラーを含むセクションです。これらのコンビネーションは変更できます。保存の方法については、⑩項を参照してください。

### ⑮ 第 III 手鍵盤ボタン

第 III 手鍵盤専用のコンビネーションのためのボタンです。[HR] コントローラーで、第 III 手鍵盤コンビネーションを呼び出す前にマニュアルモードで設定した第 III 手鍵盤のボイスを復元できます。コンビネーションは、変更できます。保存の方法については、⑩項を参照してください。

[P] は III/P カブラーです。

[M.SOLO] (MIDI ソロ) ボタンにより、手鍵盤で演奏した最も高い音符を優先して、[MIDI OUT] 端子からモノラルで送信できます。

### ⑯ 第 II 手鍵盤ボタン

第 II 手鍵盤専用のコンビネーションのためのボタンです。[HR] コントローラーで、第 II 手鍵盤コンビネーションを呼び出す前にマニュアルモードで設定した第 II 手鍵盤のボイスを復元できます。コンビネーションは、変更できます。保存の方法については、⑩項を参照してください。

[P] は II/P カブラーです。[III] と [II] はキーボードカブラーです (UNICO 500/400 のみ)。

UNICO 500/400 には、[O.SOLO] (オルガンソロ) ボタンがあり、III/II カブラーが作動している時には、最も高い音符を優先して第 III 手鍵盤のボイスをモノラルモードで演奏できます。また、[M.SOLO] (MIDI ソロ) ボタンにより、この手鍵盤で演奏する際、最も高い音符を優先して [MIDI OUT] 端子からモノラルで送信できます。

### ⑰ 第 I 手鍵盤ボタン

第 I 手鍵盤専用のコンビネーションのためのボタンです。[HR] コントローラーで、第 I 手鍵盤コンビネーションを呼び出す前にマニュアルモードで設定した第 I 手鍵盤のボイスを復元できます。コンビネーションは、変更できます。保存の方法については、⑩項を参照してください。

[P] は I/P カブラーです。[III] (UNICO 500/400) または [II] (UNICO 300) はキーボードカブラーです。

UNICO 500/400 には、[M.SOLO] (MIDI ソロ) ボタンがあり、この手鍵盤で演奏する際、最も高い音符を優先して [MIDI OUT] 端子からモノラルで送信できます。

### ⑱ [S] ボタン

全体および専用コンビネーション、トゥッティ、クレッシェンドの段階を保存するためのボタンです。

コンビネーションまたはトゥッティを設定するには、必要に応じてボイスを設定した後に、[S] を押しながら、保存したいコンビネーションのボタンまたは足ピストンを押します。

クレッシェンドの段階を保存するには、同名の足鍵盤を使用して選択した後に、[S] を押しながら、全体メモリーの [HR] を押します。ひとつの段階の内容を別の段階にコピーするには、コピーしたい段階を選択し、[S] を押しながら、内容をコピーしたい段階を選択し、全体メモリーの [HR] を押します。

#### 注意:

[S] ボタンの LED が消灯している時は、LOCK ORGAN 機能 (第 10 章) でオルガンのプログラミングがロックされているため、コンビネーションの保存や内部のプログラミング機能の確認はできません。

### ⑲ オルガン全体のコントローラー

以下のコントローラーは、それぞれのセクションではなく、楽器全体に作用します。

- **[MEM. BANK +] / [MEM. BANK -]** : メモリーバンクを選択します。選択したメモリーバンクの番号は、[M.BANK] ディスプレイ (⑫項) に表示されます。
- **[ENC]** : オルガンの全体の音量を、UNICO 500/400 では [MAN.III] のスウェルペダルを、UNICO 300 では [MAN.II] のスウェルペダルを使用して調節します。
- **[A.P.]** : 足鍵盤のボイスを、UNICO 500/400 では第 II 手鍵盤で、UNICO 300 では第 I 手鍵盤で演奏できます。この場合、オルガンの足鍵盤は無効になります。ボイスは単音になり、最も低い音符が優先されます。
- **[T]** : トゥッティを呼び出すためのボタンおよび足ピストンです。トゥッティの設定は変更できます。保存の方法については、⑱項を参照してください。
- **[C]** : キャンセルボタンです。

#### 注意:

本機の電源を入れると、常にメモリーバンク 1 番が選択されます。

### ⑳ フロント接続パネル

手鍵盤の左下には、よく使う端子やコントローラーがあります。

- **[MASTER VOLUME]** : オルガンの全体の音量を調節します。
- **[REVERB VOLUME]** : リバース効果のレベルを調節します。
- **[MIDI IN]** : 外部 MIDI 楽器から送信されるデータを受信するための MIDI 入力端子です。
- **[MIDI OUT]** : オルガンからの MIDI データを送信する MIDI 出力端子です。
- **[MIDI THRU]** : [MIDI IN] 端子から受信した MIDI データを他の MIDI 楽器に再送信するための端子です。
- **[USB]** : 2 つの USB 端子を装備しています。左側はコンピューターに接続し、楽器の設定プログラムを使用するための端子です。右側は内部メモリーの代わりに USB メモリースティック (本機に付属していません) を大容量のメモリーとして使用するための端子です。詳細は、第 11 章を参照してください。
- **[PHONES]** : ヘッドホンを接続するための端子です。

### ㉑ カバーロック

### ㉒ 足ピストンカバー

パネル上のボタンやドローノブ、タブレットスイッチと同じ機能を持つピストンです。

### ㉓ [CRESCENDO] ペダル

このスウェルペダルを踏み込むとクレッシェンドの段階を選択でき、プリセットされた組み合わせのストップを作動できます。現在選択されている段階は、[CRESCENDO] ディスプレイ (⑫項) に表示されます。クレッシェンドの各段階はそれぞれプログラミングが可能です。設定の保存方法については⑱項を参照してください。

### ②④ スウェルエクスプレッションペダル

UNICO 500/400 は、スウェルペダルが 2 つあり、第 I 手鍵盤および第 III 手鍵盤のエクスプレッションの連続的な調節が可能です。UNICO 300 は、第 II 手鍵盤のボリュームのみの連続的な調節が可能です。右側のスウェルペダルには、オーケストラボイスのサステイン効果を調節するための特別なレバーシステムも組み込まれています。

### ②⑤ リバーシブル足ピストン

これらのピストンを作動すると、連携しているコントローラーがオフになります。ピストンを解除すると、コントローラー機能が再びオンになります。

- **[MIDI REVERS.]** : MIDI コントローラーをオフにします。このピストンが作動していても MIDI コントローラーの設定は可能です。
- **[32" FLUTE REVERS.]** : 32" フルート管をオフにします。
- **[32" REED REVERS.]** : 32" リード管をオフにします。

### ②⑥ リア接続パネル

オルガンの背面には、外部のスピーカーシステムに接続するための端子や、オルガンの内蔵アンプを使用するためのライン入力およびマイク入力があります。

- **[EXT.+12V DC]** : [PROG. OUT] 端子に接続されたバイカウント製スピーカーに、+12V の電源を供給する端子です。
- **[GEN. SUB OUT]** : 低域音再生用スピーカー（サブウーファー）を接続するための専用の出力端子です。
- **[PROG. OUT]** : オルガンからの一般ライン出力端子です。パイプオルガンの風箱のシミュレーションが可能です。ディスプレイで設定した内容にもとづいて信号が出力から送信されます。それぞれのストップについて、風箱のタイプ、サイズ、スピーカーの位置を設定できます。各出力では専用のレベルおよびイコライザーコントローラーが利用可能です。
- **[L(+R)/R INPUT]** : オルガンの内蔵アンプを使用して他の楽器を演奏するためのライン入力端子です。ソース音源がモノラルの場合は、[L+ (R)] 端子のみを使用してください。
- **[MIC INPUT]** : マイク入力端子です。内蔵アンプを使用して出力されます。
- **[GAIN]** : マイク入力信号のゲインを調節します。

#### 警告

オルガンの背面にあるこれらの端子は外からは見えません。使用するためにはオルガン背面の木製パネルを取り外す必要があります。信頼できるスタッフにご相談ください。

## 4. 電源を入れる／メインページ

電源スイッチで楽器の電源を入れると、数秒後にシステムは作動します。この間に、手鍵盤の各パネルの LED が順番に点灯し、ディスプレイに初期画面が表示されます。

以下のメインページが表示されると、本機は使用可能になります。

<b>TUNING</b>	<b>SET-UP</b>
<b>VOICES</b>	<b>UTIL. &amp; MIDI</b>
<b>STYLES</b>	<b>FILE MANAG.</b>
<b>EQUAL</b>	<b>USER 2</b>
<b>ENSEMBLE 2</b>	<b>P.COMB NO</b>
<b>AIRPRESS --</b>	<b>K.INV NO</b>
<b>A: 440.00 HZ</b>	<b>TRANSP --</b>

この画面の上部には、オルガンのさまざまな設定メニューを選択するため次のフィールドが表示されます。

- **TUNING** (チューニング)：楽器のチューニングパラメーター
- **VOICES** (ボイス)：オルガンのすべてのボイスにかかわる機能
- **STYLES** (スタイル)：スタイルの選択
- **SET-UP** (セットアップ)：オルガンの一般設定機能
- **UTIL. & MIDI** (ユーティリティ & MIDI)：ユーティリティおよび MIDI 機能
- **FILE MANAG.** (ファイル管理)：内部メモリーまたは USB メモリースティックに保存されたファイルの管理

メニューのコンテンツを表示するには、[FIELD ▲] / [FIELD ▼] を使ってカーソルを必要なフィールドに合わせ (カーソルを合わせたフィールドは反転します)、[ENTER] を押します。[EXIT] を押すとメニューが終了し、メインページに戻ります。

画面の下部フィールドには、現在の楽器の設定状態が表示されます。

- **左上のボックス**：(上図で「EQUAL」と表示されている部分) TUNING メニューで選択された現在使用中のテンプレート (調律法) を表示します。
- **ENSEMBLE**：TUNING メニューで設定された ENSEMBLE 値を表示します。
- **AIR PRESS**：TUNING メニューで設定されたエアプレッシャーのパラメーター値を表示します。
- **A**：TUNING メニューで設定された本機のチューニングを A4 の周波数で表示します。
- **右上のボックス**：(上図で「USER 2」と表示されている部分) STYLES メニューで選択されたスタイルを表示します。
- **P. COMB**：UTIL. & MIDI メニューで設定されたピストンコンビネーション機能の状態を表示します。
- **K. INV**：UTIL. & MIDI メニューで設定されたキーボード反転機能の状態を表示します。
- **TRANSP**：TUNING メニューで設定されたトランスポジションを表示します。

これらは設定された情報を表示しているだけです。上記の機能の設定を変更するには、それぞれのメニューにアクセスする必要があります。

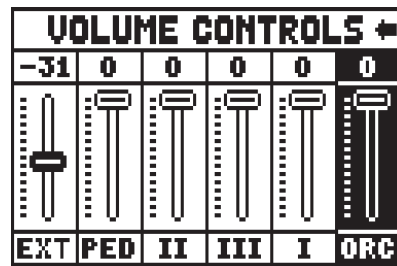
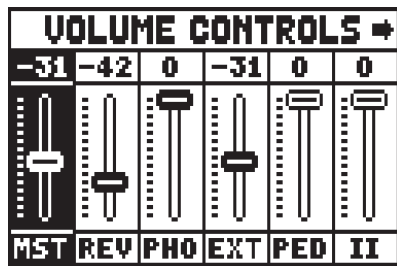
それぞれの画面を表示するためのボタンは、ディスプレイの周りにあります。

- **[SEQUENC]**：本機内蔵のシーケンサーを使用するための画面を表示します。
- **[VOLUMES]**：すべてのボリュームを調節するための画面を表示します。
- **[FIELD ▲] / [FIELD ▼]**：カーソルを移動するためのボタンです。カーソルを合わせると項目の文字が反転します。[FIELD ▲] はカーソルを上または前のフィールドに、[FIELD ▼] はカーソルを下または次の項目に移動します。
- **[VALUE +] / [VALUE -]**：パラメーターの値 (数字またはアルファベット) を調節するためのボタンです。[VALUE +] で値が増加し、[VALUE -] で値が減少します。
- **[EXIT] / [ENTER]**：ディスプレイのメニューにアクセスしたり、終了したりするボタンです。システムのメッセージを確認またはキャンセルするとき使用します。メニューにアクセスまたは確認する場合は [ENTER] を、メニューを終了またはキャンセルする場合は [EXIT] を押します。

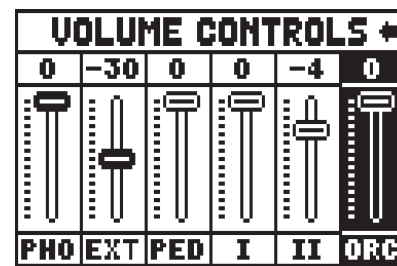
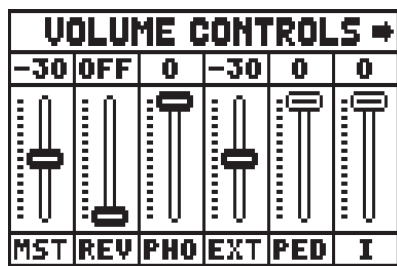
## 5. ボリュームの設定 (VOLUME CONTROLS)

[VOLUMES] ボタンを押すと、オルガンのすべてのボリューム調節にかかわる画面が表示されます。

UNICO 500/400



UNICO 300

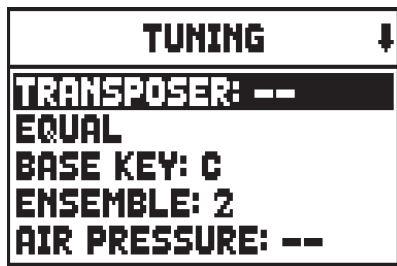


- **MST** (マスター)：オルガン全体の音量を調節します。手鍵盤の下の [MASTER VOLUME] つまみでも調節できます。
- **REV** (リバーブ)：残響効果を設定します。手鍵盤の下の [REVERB VOLUME] つまみでも調節できます。
- **PHO** (ヘッドホン)：手鍵盤の下にある [PHONES] 端子から出力されるヘッドホンの音量を調節します。
- **EXT** (外部出力)：背面にある [PROG. OUT] 端子の全体的な音量を調節します。
- **PED** (足鍵盤)：足鍵盤の音量を調節します。
- **II** (第II手鍵盤)：第II手鍵盤の音量を調節します。
- **III** (第III手鍵盤)：第III手鍵盤の音量を調節します。
- **I** (第I手鍵盤)：第I手鍵盤の音量を調節します。
- **ORC** (オーケストラ)：オーケストラボイスの音量を調節します。

設定を終了し、前のページに戻るには、[EXIT] を押すか、4 秒ほどお待ちください。

## 6. 本機のチューニング（TUNING メニュー）

メインページで「TUNING」を選択すると、オルガンの様々な調律を変更することができます。



- **TRANSPOSER**（トランスポージャー）：[- 6] ～ [+ 5] 半音単位で移調できます。電源を入れた時、オルガンのトランスポジションは常にゼロに設定されます。
- **ディスプレイの2つ目の項目**：（上図で「EQUAL」（平均律）と表示されている部分）さまざまな時代や地域の歴史的なテンペラメント（古典調律法）を設定できます。
- **BASE KEY**（ベースキー）：古典調律を構成する 12 音の五度環が始まる音です。
- **ENSEMBLE**（アンサンブル）：オルガンのパイプとパイプの間の微妙なピッチのずれのレベルを表示します。年月とともに進行する摩耗や温度変化によって自然に発生するチューニングの誤差をシミュレートしたもので、[-]（パイプのチューニングが完全に合っている状態）から [8]（ピッチの差異が最大の状態）までの値を選択できます。
- **AIR PRESSURE**（エアプレッシャー）：短時間で大量の空気が必要な場合（例：トゥッティで大きな和声を演奏した場合）の空気圧の低下をシミュレートします。空気圧の低下により、一時的にピッチがゆっくり下がります。この現象は長く、太いパイプ（フルート、ブルドン、プリンシパル）のほうが顕著に現れます。
- **PITCH (A)**（ピッチ）：ピッチの微調整。A4（8" パイプ）の周波数で表示されます。工場出荷時は 440.00Hz に設定されています。

メニューを終了するには [EXIT] を押してください。

### 注意:

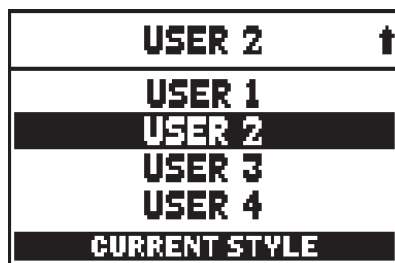
トランスポジション機能は、オルガン内蔵シーケンサーの再生時にははたらきません（録音時には、移調された音程で録音されます）。そのため再生するときには、必要に応じて専用のトランスポージャーを使用できます（12.3 章参照）。



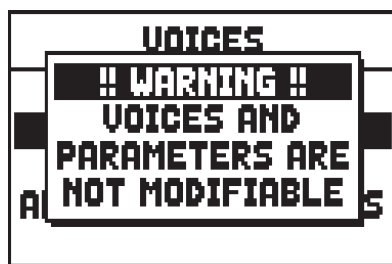
## 7. オルガンのスタイル (STYLES メニュー)

STYLES メニューでは、オルガンのストップのスタイルを選択できます。各スタイルはボイスと関連のパラメーターが設定されており、演奏するレパートリーに合ったボイスを使用できます。オルガンには 8 つのスタイルがあり、いずれかを選べます。最初の 4 つは、プリセットスタイルと呼ばれ、自社のラボでプログラムされたもので、これらのプリセットはユーザーによる内容の変更ができません。残りの 4 つのスタイルは、ユーザースタイルと呼ばれ、好みのスタイルに沿って自由にボイスを変更し、カスタマイズできます。

スタイルを選択するには、メインページで「STYLES」を選択します。



前述のとおり、最初の 4 つのプリセットスタイルは変更できません。プリセットスタイルを選択した状態で VOICES メニューにアクセスすると、ディスプレイに下図のような警告メッセージが表示されます。



スタイルの設定を表示し、確認することはできます。ディスプレイのボタンを押し続けるか、3 秒ほどお待ちください。

## 8. ボイスの選択と調節 (VOICES メニュー)

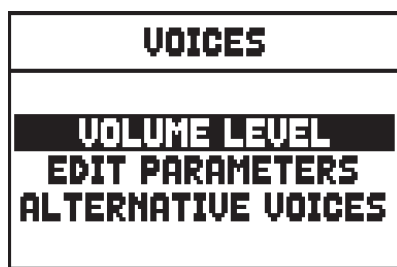
UNICO オルガンの音源に使用されている Physis( フィシス ) という新しい技術により生み出された、膨大な量のオルガンボイスの中から選び、自分だけのお好みの音色を持つオルガンにすることができます。また、数種類のパラメーターを使って調節すればさらに音色を増やすことが可能になります。

VOICES メニューには、ボイスのパラメーターを選択し、調節するためのすべての機能が含まれています。

### 注意:

- プリセットスタイルが選択されている時は、下記の機能は編集できません。これらのパラメーターを調節するためには、ユーザースタイルを選択してください。
- それぞれのスイッチまたはドロップで選択されたボイスの特性や音量は、選択されている現在のスタイルに自動的に保存されます。別のスタイルが呼び出された時には、そのスタイルで設定されたパラメーターにリセットされます。前に設定したパラメーターは保存されていますので、再び同じスタイルを呼び出したときに復元されます。

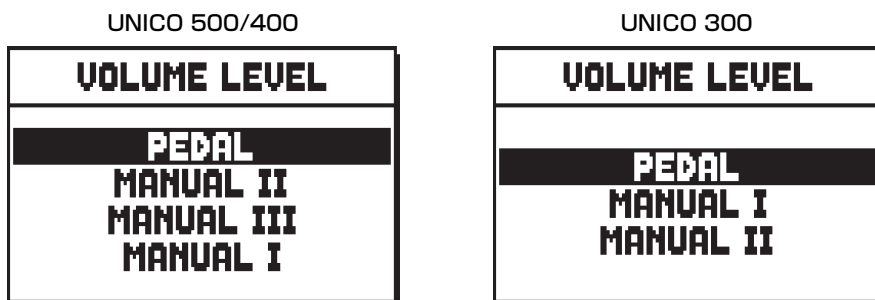
最初に表示されるページから、アクセスする機能を選択します。



- **VOLUME LEVEL** : 各ボイスのボリュームを設定します。
- **EDIT PARAMETERS** : 各ボイスの音源パラメーターを設定します。
- **ALTERNATIVE VOICES** : 交換ボイスを設定します。

### 8.1 ボリュームの調節 (VOLUME LEVEL 機能)

VOICES メニューで「VOLUME LEVEL」を選択すると、ディスプレイに各オルガンセクション名が表示されます。ボリュームを調節したいボイスが含まれる鍵盤部を選択します。



## 8. ボイスの選択と調節 (VOICES メニュー)

[FIELD ▲]、[FIELD ▼] および [ENTER] を使用して画面上の任意の鍵盤部を選択します。  
または、VOICES メニュー画面で「VOLUME LEVEL」にカーソルを合わせ、調節したいボイスのドローノブを引き続ける、またはタブレットスイッチを長押しして選択しボリュームを調節する方法があります。

PEDAL VOICES VOL. ↓	
Subbas 32	0 dB
Bourdon 16 A	0 dB
Prestant 16A	0 dB
Gedekt 8	0 dB
Octaaf 8	0 dB

エラーを防ぐため、ボリュームを調節するストップのLED が点滅します。設定のときストップはオンの状態になりこれを演奏すれば正確かつ迅速な調節が行えます。他のストップも同様にオンにすれば、設定が全体的にどのような効果を及ぼすか確認できます。

[EXIT] を押すとこの機能は終了し設定値は保存されます。

## 8.2 オーディオパラメーターの調節 (EDIT PARAMETERS 機能)

各ボイスの音源に関わる設定を細かく変更するには、VOICES メニューで「EDIT PARAMETERS」を選択します。

UNICO 500/400

EDIT PARAMETERS
<b>PEDAL</b>
MANUAL II
MANUAL III
MANUAL I

UNICO 300

EDIT PARAMETERS
<b>PEDAL</b>
MANUAL I
MANUAL II

オルガンセクション名が表示されますので、調整したいボイスを含む鍵盤部を選びます。

PEDAL EDIT PAR. ↓
Subbas 32
Bourdon 16 A
Prestant 16A
Gedekt 8
Octaaf 8

鍵盤部を選ぶと、含まれるボイスが表示されます。

または、VOICES メニュー画面で「EDIT PARAMETERS」にカーソルを合わせ、調節したいボイスのドローノブを引き続ける、またはタブレットスイッチを長押しして選択しオーディオ設定を調節する方法があります。

Subbas 32	
CHARACTER	0
AIR NOISE	0
ATTACK	0
RELEASE DET.	0
KEYB. LO LEV.	0 dB

エラーを防ぐため、調節しているストップのLEDが点滅します。設定のときストップはオンの状態になりこれを演奏すれば正確かつ迅速な調節が行えます。他のストップも同様にオンにすれば、設定が全体的にどのような効果を及ぼすか確認できます。

表示されるパラメーターは各ボイスによって異なります。

ここでは、下記のパラメーターの調節ができます。

- CHARACTER (キャラクター)：ハーモニーの豊かさ
- AIR NOISE (エアノイズ)：パイプ内を通る空気が起こすノイズ音
- REED NOISE (リードノイズ)：リードの振動による発音の微妙なズレ
- ATTACK (アタック)：音が最大音量に達するまでの時間
- REL. DETUNE (リリースデチューン)：リリース時の音程変化
- FREQ. SKEW (周波数ひずみ)：アタックとリリースの間に起こるエアのピッチ変化
- DETUNE (デチューン)：音程変化により発生するボイスが震える現象
- KEYB. LO LEV. (キーボードローレベル)：手鍵盤の低音域のボリュームの増減
- KEYB. HI LEV. (キーボードハイレベル)：手鍵盤の高音域のボリュームの増減
- TREMULANT (トレモロ)：第1または第2トレモロを選択します。選択されたトレモロは専用のストップまたはドローストップに登録された音源が再生されたときに働きます。

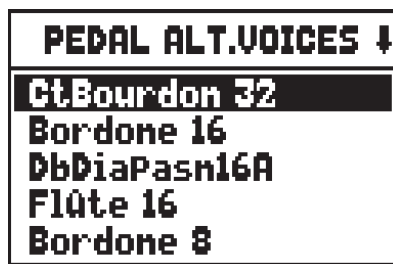
この機能を終了し、設定を保存するには [EXIT] を押します。

### 8.3 交換ボイスの選択 (ALTERNATIVE VOICE 機能)

パネル上の各ストップには、現在使用しているスタイルのデフォルトボイスと、オリジナルバリエーションである交換ボイスがあります。交換ボイスは、ALTERNATIVE VOICES 機能で選択します。

UNICO 500/400	UNICO 300									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>ALTERNATIVE VOICES</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PEDAL</td> </tr> <tr> <td>MANUAL II</td> </tr> <tr> <td>MANUAL III</td> </tr> <tr> <td>MANUAL I</td> </tr> </tbody> </table>	ALTERNATIVE VOICES	PEDAL	MANUAL II	MANUAL III	MANUAL I	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ALTERNATIVE VOICES</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PEDAL</td> </tr> <tr> <td>MANUAL I</td> </tr> <tr> <td>MANUAL II</td> </tr> </tbody> </table>	ALTERNATIVE VOICES	PEDAL	MANUAL I	MANUAL II
ALTERNATIVE VOICES										
PEDAL										
MANUAL II										
MANUAL III										
MANUAL I										
ALTERNATIVE VOICES										
PEDAL										
MANUAL I										
MANUAL II										

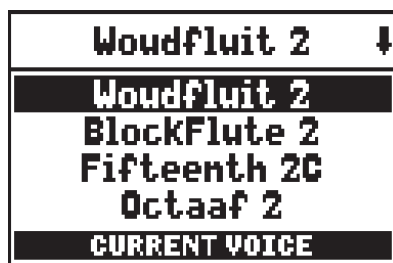
VOICES メニューのその他の機能を設定するには、次に、調節するボイスを含むオルガンのセクションを選びます。選択されたセクションにあるボイスのリストが表示されます。



交換ボイス画面を直接表示するには、VOICES メニュー画面で「ALTERNATIVE VOICES」にカーソルを合わせるか、この機能を選択した状態で、変更するボイスのドロワーノブを引き続ける、またはタブレットスイッチを長押しする方法があります。

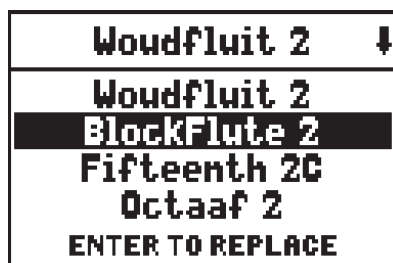
エラーを防ぐため、置き換えられるストップのLEDが点滅します。設定のときストップはオンの状態になりこれを演奏すれば正確かつ迅速な調節が行えます。

ディスプレイには交換ボイスのリストが表示されます。



画面の下に、「CURRENT VOICE」(現在のボイス)と表示されます。

また、画面の上部には、ドロワーノブまたはタブレットスイッチに記載された名前の画面が表示され、変更されるストップのボイスが常に確認できます。[FIELD ▲] / [FIELD ▼] を使用してカーソルを他のボイスに移動すると、「ENTER TO REPLACE」(ENTER を押して置き換え) というメッセージが表示されます。



新しいボイスを選択し、使用できるようにするには [ENTER] を押します。カーソルを合わせたボイスは [ENTER] を押す前にも演奏できるため、変更するボイスをすぐにチェックできます。他のストップも同様にオンにすれば、設定が全体的にどのような効果を及ぼすか確認できます。

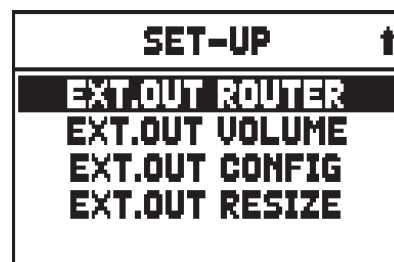
他のボイスを置き換える場合、またはこの機能を終了する場合は、[EXIT] を押します。

**注意:**

交換ボイスが選択されると、EDIT PARAMETERS 機能のサウンドパラメーターは、自動的に新しいボイスのデフォルト設定にリセットされます。ボリュームの設定 (VOLUME LEVEL 機能) は変更されません。

## 9. 一般設定 (SET-UP メニュー)

SET-UP メニューには、MIDI、アクセサリ、ユーティリティ以外の全ての設定機能があります。このメニューを呼び出すには、メインページで「SET-UP」を選択します。



ここでは以下の機能が設定できます。

- 1st TREMULANT (トレモロ) : 各手鍵盤の第 1 トレモロの速さと深さの設定
- 2nd TREMULANT (トレモロ) : 各手鍵盤の第 2 トレモロの速さと深さの設定
- REVERBERATION (リバーブ) : 各種空間規模によるリバーブ効果の選択
- INT. AMPL. EQUALIZER (内蔵アンプイコライザー) : 内蔵アンプの 5 バンドイコライザーの設定
- INT. AMPL. PANNING (内蔵アンプパンニング) : 内蔵アンプの各ストップのステレオ設定  
各ストップのさまざまな風箱のタイプをシミュレートします。
- INT. AMPL. TUNE-UP (内蔵アンプチューナップ) : この機能は本機では動きません。
- PROG. FUNCTION (プログラミング機能) : 手鍵盤の下で操作する、コンビネーション、ボタン、クレッシェンド、トリマーなどにかかわる設定
- ENC. CONFIGURATION (内部コンフィグレーション) : [ENC] ボタンの機能の設定
- EXT. OUT EQUALIZER (外部出力イコライザー) : 背面の [PROG. OUT] 端子のイコライザー設定
- EXT. SUB EQUALIZER (外部サブウーファースイコライザー) : 背面の [GEN. SUB OUT] 端子のイコライザー設定
- EXT. OUT ROUTER (外部出力ルーター) : 背面の [PROG. OUT] 端子のストップルーティングを設定し、風箱の位置やパイプアレンジのシミュレーション
- EXT. OUT VOLUME (外部出力ボリューム) : 背面の [PROG. OUT] 端子のボリューム設定
- EXT. OUT CONFIG (外部出力コンフィグレーション) : 背面の [PROG. OUT] 端子の設定
- EXT. OUT RESIZE (外部出力のサイズ変更) : ストップと背面出力の間のリンクを、出力量に合わせ自動的に適応させます。

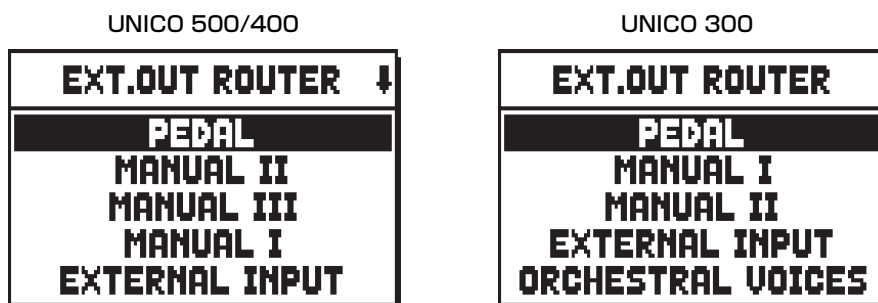
## 9.1 背面のオーディオアウトプットのボイスルーティング設定 (EXT. OUT ROUTER 機能)

UNICO シリーズの特長の 1 つとして、ストップ毎に、内部の風箱の位置とパイプの配列をシミュレートできる機能があります。これは背面パネルのどのアウトプットから出力するかを決め、オーディオ信号のルーティング設定をすることで実行できます。各ストップにおいて、風箱上のパイプレイアウトを決めるアウトプット構成を次のように設定できます。

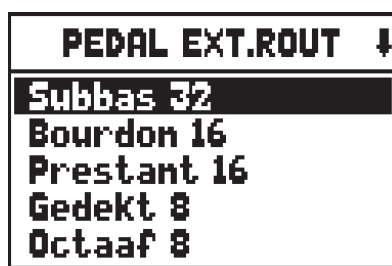
- シングルまたはダブルカスブ
- ダブルウィング
- 左または右ウィング
- モノラル
- オルタネートキー (変調)

さらに、各レイアウトは使用するアウトプットの数により風箱の幅とその位置までも指定できます。

背面のオーディオアウトプット設定ページにアクセスするには、SET-UP メニューの EXT. OUT ROUTER フィールドを選択します。

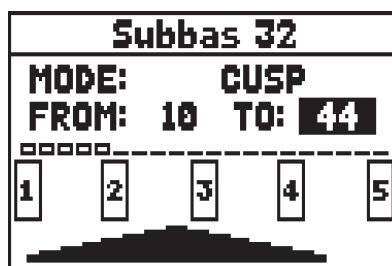


セクションを選択する画面が表示されます。セクション内のストップのリストから設定したいストップを選択します。



SET-UP 画面を直接表示するには、SET-UP メニューの EXT. OUT ROUTER フィールドにカーソルを合わせるか、この機能を選択した状態で、設定するボイスのドロワーノブを引き続ける、またはタブレットスイッチを長押しする方法があります。

エラーを防ぐため、設定するストップの LED が点滅します。ストップはオンの状態になり、これを演奏すれば正確かつ迅速な調節が行えます。他のストップも同様にオンにすれば、設定が全体的にどのような効果を及ぼすか確認できます。



画面は4つのセクションから構成されています。

- **MODE** : 風箱のタイプを下記の中から選びます。
  - **C - C#** (変調)
  - **MONO** (モノラル)
  - **DOUBLE CUSP** (ダブルカスプ)
  - **CUSP** (カスプ)
  - **DOUBLE WING** (ダブルウィング)
  - **WING** (ウィング)
- **FROM/TO** : 出力の範囲内で風箱が配置される場所を指定します。値は、[出力番号と、2つの出力の間の位置番号]にて設定します。ひとつの出力と次の出力の間には、4つの位置番号があります (ディスプレイ上では、2-4-6-8)。40という値は、範囲 (FROMまたはTO) の端が出力 [4] にあることを意味します。82という値は、範囲 (FROMまたはTO) の端は出力 [8] と [9] の中間にあり、出力 [8] に近い方にあるという意味です。それは、出力 [8] と出力 [9] の間は5等分されており、5分の1の位置であることを意味しているからです。上の画面は、風箱のピークの位置が、出力 [1] と、出力 [4] と [5] の中間点、の間に配置されていることを示しています。
- **ポジションインジケータ** : 風箱の絵の上にある小さな長方形は、出力の合計数と全出力の中でどこに位置しているかを示しています。
- **風箱と出力** : 画面の下部には、風箱と使用中の出力が図として表示され、風箱の位置情報と設定によって送り出される出力からの音の状態を視覚的に確認できます。

別のストップの設定を表示するには、別のドローノブまたはタブレットスイッチを使うか、[EXIT] を押してこの機能を終了します。いずれの場合も直前に行った設定は自動的に保存されます。

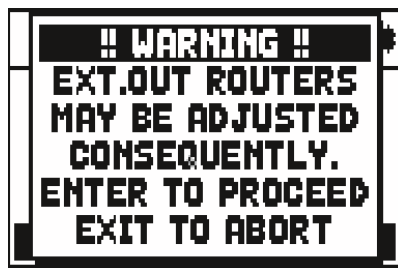
## 9.2 背面のオーディオアウトプットの環境設定 (EXT. OUT CONFIG 機能)

この機能を使えばプログラム出力が可能になり、アンティフォナル信号 (AMPLIFICATION タブで操作)、ジェネラルシグナルやリバーブシグナルの操作が容易にできるようになります。SET-UP メニューで EXT. OUT CONFIG フィールドを選択すると以下の画面が表示されます。



[VALUE +] / [VALUE -] を使用してお好みの設定を選択します。[ENTER] を押すと設定が確定します。設定を中止する場合は、[EXIT] を押します。新しい設定を選択すると以下のポップアップメッセージが表示されます。





これはいくつかのストップの外部パンニング (9.1 章参照) が変更されることを意味します。

出力 [2] と [3] の間に位置するストップで (4 つの出力を持つオルガンの場合)、または出力 [8] と [9] の間に位置するストップで (12 の出力を持つオルガンの場合)、または出力 [16] と [17] の間に位置するストップで (20 の出力を持つオルガンの場合)、出力を GENERAL か REVERB に設定した場合、以前パンニングを設定された最初の出力はモノに変更されます。[ENTER] を押すと自動パンニング設定が確定し、SET-UP メニューに戻ります。[EXIT] を押すと設定を中止し、SET-UP メニューに戻ります。

各モードにおける機能の説明は以下の通りです。

#### UNICO 300:

モード	出力 1-2	出力 3-4
STANDARD (標準)	EXT. OUT ROUTER 機能で設定した通り	EXT. OUT ROUTER 機能で設定した通り
GENERAL-REVERB	ジェネラルシグナル	リバーブシグナルのみ

#### UNICO 500/400:

モード	出力 1-8 (または 1-16)	出力 9-10 (または 17-18)	出力 11-12 (または 19-20)	AMP タブ設定 [CONSOLE ON]	AMP タブ設定 [EXT. SPEAKER ON]
STANDARD (標準)	EXT. OUT ROUTER 機能で設定した通り	EXT. OUT ROUTER 機能で設定した通り	EXT. OUT ROUTER 機能で設定した通り	内蔵アンプ駆動	出力 1-12 (または 1-20)
GENERAL-REVERB	EXT. OUT ROUTER 機能で設定した通り	ジェネラルシグナル	リバーブシグナルのみ	出力 1-8 (または 1-16)	出力 9-12 (または 17-20)
ANTIPHONAL	EXT. OUT ROUTER 機能で設定した通り	EXT. OUT ROUTER 機能で設定した通り	EXT. OUT ROUTER 機能で設定した通り	出力 1-8 (または 1-16)	出力 9-12 (または 17-20)
GENERAL-ANTIPH.	EXT. OUT ROUTER 機能で設定した通り	ジェネラルシグナル	EXT. OUT ROUTER 機能で設定した通り	出力 1-8 (または 1-16)	出力 9-12 (または 17-20)
ANTIPH.-REVERB	EXT. OUT ROUTER 機能で設定した通り	EXT. OUT ROUTER 機能で設定した通り	リバーブシグナルのみ	出力 1-8 (または 1-16)	出力 9-12 (または 17-20)

#### 注意:

4 系統のオーディオ出力を持つモデルにおいて、EXT. OUT ROUTER 機能で GENERAL+REVERB モードを選択した場合は、出力ルーティングの設定ができません。

# 10. ユーティリティおよび MIDI 機能 (UTIL. & MIDI メニュー)

UTIL. & MIDI メニューはメインページから同じ名前のフィールドを選択し呼び出すことができます。ここにはオルガンの MIDI インターフェースにかかわるすべてのアクセサリ機能や設定が含まれています。メニューは次の 3 つの画面に表示されます。

UTILITY AND MIDI ↓	
PIST. COMBINE:	NO
KEYBOARDS INV.:	NO
TRACKER TOUCH:	NO
1st SHORT OCT.:	NO
AUTO MAINPAGE:	NO

UTILITY AND MIDI #	
LCD CONTRAST:	8
SET DATE & TIME	
LOCK ORGAN	
RESTORE FACT. SET	
OP.SYS. UPGRADE	

UTILITY AND MIDI ↑	
Tx AND Rx CHANNEL	
Tx AND Rx FILTER	
PROG. CHANGE SEND	
PEDAL/KEYB TOUCH	
COUPLED NOTES: YES	

最初の画面には、アクセサリおよびユーティリティ機能の設定メニューが表示されます。

- **PIST. COMBINE** (ピストンコンビネーション)：第 II 手鍵盤と足鍵盤と同期させる専用のコンビネーションです。
- **KEYBOARDS INV.** (手鍵盤の反転)：第 I 手鍵盤のストップが第 II 手鍵盤で、または第 II 手鍵盤のストップが第 I 手鍵盤で演奏できるように手鍵盤を反転させます。
- **TRACKER TOUCH** (トラッカータッチ)：アタックタイムに影響を及ぼす、典型的なオルガンのメカニズムであるトラッカータッチをシミュレーションします。アタックタイムはフルパイプでのみ遅延し、リリースはすべてのストップで遅延します。
- **1st SHORT OCT.** (第 1 ショートオクターブ)：手鍵盤および足鍵盤の第 1 オクターブをショートオクターブにします。
- **AUTO MAINPAGE** (オートメインページ)：ディスプレイを 10 秒以上使用しない場合、自動的にメインページに戻ります。
- **LCD CONTRAST** (LCD コントラスト)：ディスプレイのコントラストを調節します。
- **SET DATE & TIME** (日付&時間設定)：日付と時間を設定します。
- **LOCK ORGAN** (オルガンのロック)：セットアップ画面へのアクセス防止、およびコンビネーション、トゥッチ、クレッシェンドの保護のため、オルガンをロックする暗証コードを設定します。
- **RESTORE FACT. SET** (工場出荷時設定の復元)：工場出荷時の設定を復元します。
- **OP.SYS. UPGRADE** (オペレーティングシステムのアップグレード)：オペレーティングシステムをアップグレードします。

3 ページ目の画面は、MIDI インターフェースの設定メニューが表示されます。

- **Tx AND Rx CHANNEL**：MIDI 送信および受信チャンネルを設定します。
- **Tx AND Rx FILTER**：MIDI 送信および受信フィルターを設定します。
- **PROG. CHANGE SEND** (プログラムチェンジセンド)：コンビネーションを保存し、MIDI プログラムチェンジおよびバンク選択メッセージを送信します。
- **PEDAL/KEYB TOUCH** (足鍵盤/手鍵盤のタッチ)：オーケストラボイスを使用するための手鍵盤のダイナミックカーブを選択し、MIDI ノートを送信します。
- **COUPLED NOTES** (音のカプリング)：MIDI で送信される音を選択します。YES を選択し、演奏している手鍵盤の音と「カプリング」された手鍵盤から生成される音の両方を送信します。例：カプリング II/P を有効にして足鍵盤を演奏した場合、音の情報は足鍵盤の MIDI チャンネルと第 II 手鍵盤の MIDI チャンネルの両方から送信されます。NO に設定していると、実際に演奏している鍵盤から送信されます (この例の場合では足鍵盤のチャンネルからのみ送信されます)。

# 11. ファイル管理機能 (FILE MANAG. メニュー)

UNICO シリーズのオルガンは、内部メモリーと、手鍵盤の下の [USB] 端子に接続する USB メモリースティックの 2 種類のメモリーを使用できます。

これらのデータ記憶装置は、オルガンのセットアップ情報、曲の情報および曲のリストを保存します。USB メモリースティックが接続されている場合は、システムはそれを大容量メモリーとして使用します。この時、ファイルのコピー (内部メモリーから USB メモリースティックへ、または USB メモリースティックから内部メモリーへ) はできますが、内部メモリーへのファイルの読み込み、保存されたファイルの削除、名前の変更はできません。内部メモリーの内容を変更するには、USB メモリースティックを外してから行います。

メインページで「FILE MANAG.」を選択すると、ファイル管理機能のメニューにアクセスできます。また、オルガンにインストールされたファームウェアに関する情報を表示する画面もあります。



このページでは、画面の下に現在使用されているメモリー装置が表示されます。

- INTERNAL MEMORY (内部メモリー)
- USB STICK DRIVE (USB メモリースティック)

使用できる機能は下記のとおりです。

- DIR (ディレクトリ)：大容量メモリーに保存されているファイルのリストを表示します。
- LOAD (ローディング)：ファイルを読み込みます。
- SAVE (保存)：オルガンのセットアップまたはその一部を大容量メモリーに保存します。
- COPY (コピー)：ファイルを別の記憶装置にコピーします (例：内部メモリーから USB メモリースティックへ)。
- RENAME (名前の変更)：ファイル名を変更します。
- DELETE (削除)：ファイルを削除します。
- SONGLIST (ソングリスト)：曲のリストをプログラムします。
- O.S. INFO (OS 情報)：システムにインストールされたファームウェアのバージョンを表示します。

## 注意:

- USB メモリースティックを挿入してから、FILE MANAG. メニューが表示されるまで数秒お待ちください。
- USB メモリースティックに保存したファイルのファイル名を、コンピューターを使用して変更する場合、数字と小文字のアルファベット文字のみを使用してください。
- USB メモリースティックは、FAT または FAT32 ファイルシステムにフォーマット済みのものを使用してください (NTFS は使用できません)。

## 12. 録音と再生 (SEQUENCER)

UNICO オルガンには、録音再生機能を持つデジタルレコーダーが内蔵されています。録音は USB メモリースティックまたは内部メモリーに MIDI ファイルとして保存され、いつでも再生することができます。

シーケンサーを呼び出すには、ディスプレイの横の [SEQUENC.] ボタンを押します。システムの 3 つの操作モードを選択する画面が表示されます。



- **PLAY** (再生) : 内部メモリーまたは USB メモリースティックに保存された演奏を再生します。
- **PLAY OPTIONS** (再生オプション) : 曲の再生のためのオプションを設定します。
- **RECORD** (録音) : 演奏曲を録音します。

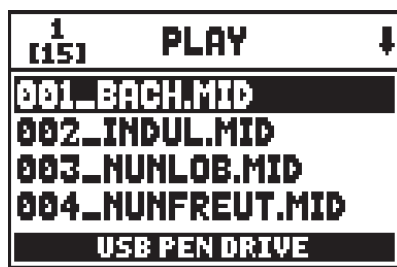
画面の下に現在使用されているメモリーが表示されます。内部メモリーより USB メモリースティックの方が優先されるため、内部メモリーを使用するには先に USB メモリースティックを外す必要があります。

### 注意:

- USB メモリースティックを差し込み、数秒待ってからシーケンサーを呼び出してください。
- TUNING メニューで設定されたトランスポジションは、曲の再生の際には無効になります (録音時には、トランスポジションが有効になります)。シーケンサーのトランスポジションを設定するには、12.3 章を参照してください。

### 12.1 曲の再生 (PLAY モード)

上記のシーケンサーモード選択画面で「PLAY」を選択します。現在使用中のメモリーに保存された MIDI ファイルが表示されます。



再生する MIDI ファイルを選択します。



画面にシーケンサーを使用するための機能が表示されます。

- **[ENTER]** : [ENTER] を押すと曲の再生を開始します。
- **[EXIT]** : [EXIT] を押すとシーケンサー機能が終了します。
- **[FIELD ▲]** : メモリー内またはソングリスト (12.4 章参照) 内で前の曲を選択します。
- **[FIELD ▼]** : メモリー内またはソングリスト (12.4 章参照) 内で次の曲を選択します。
- **[VALUE -]** (1 回押し) : 再生速度を遅くします (画面の最上部に、元の速度を 100 としてパーセントで表示します)。
- **[VALUE +]** (1 回押し) : 再生速度を速くします (画面の最上部に、元の速度を 100 としてパーセントで表示します)。
- **[VALUE -]** (長押し) : 巻き戻します。
- **[VALUE +]** (長押し) : 早送りします。

曲の再生が始まると、ディスプレイには次の画面が表示されます。



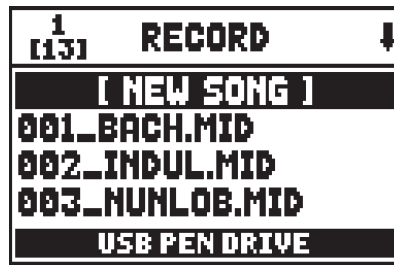
この画面に表示されているとおり、[ENTER] および [EXIT] の働きが、下記のように変わります。

- **[ENTER]** : 曲の再生を一時停止 / 再スタートします。
- **[EXIT]** : 曲の再生を停止します。

[FIELD ▲]、[FIELD ▼]、[VALUE -]、[VALUE +] の機能は変わりません。

## 12.2 曲の録音 (RECORD モード)

シーケンサーモード選択画面で「RECORD」を選択します。次の画面が表示されます。



新たに曲を録音するには、[NEW SONG] を選択します。または、他の MIDI ファイルをロードし、オーバーダビングするか、すでに録音された演奏に新たな録音を追加できます。



PLAY モードと同様に、ボタンの機能に関する情報が画面に表示されます。

- [ENTER] : 録音を開始します。
- [EXIT] : シーケンサーを終了します。

録音が始まると、ボタンの機能は下記に変更されます。



- [ENTER] : 録音を一時停止／再スタートします。
- [EXIT] : 録音を停止します。

録音を終了するには [EXIT] を押してください。ディスプレイには録音を保存するための画面に変わります。



## 12. 録音と再生 (SEQUENCER)

下記の機能が選択できます。

- **SAVE** (保存) : 録音を MIDI ファイルとして保存します。
- **PLAY** (再生) : 録音を保存する前に再生します。
- **OVERDUB** (オーバーダビング) : 呼び出した曲に新たな録音を加えます。
- **DISCARD AND EXIT** (削除および終了) : 録音を削除し、シーケンサーの録音モードを終了します。

「SAVE」を選択すると、保存する MIDI シーケンスの名前を入力する画面が表示されます。



ファイルの名前を入力するには、[FIELD ▲] / [FIELD ▼] を使用してカーソルを動かし、[VALUE +] / [VALUE -] で文字を選択します。最初の 3 文字に入力できるのは数字のみです。ファイル名を確認してデータを保存するには [ENTER] を押します。保存を中止して前の画面に戻るには [EXIT] を押します。ファイルが保存されると下記の確認メッセージが表示されます。



SAVE 画面で [EXIT] を押した場合 (録音を保存していない場合)、録音が消去されることを警告するメッセージが表示されます。



ここで [ENTER] を押すとデータを削除して終了し、[EXIT] を押すと SAVE 画面に戻ります。

### **注意:**

コンピューターを使用して USB メモリースティックに保存されたファイルの名前を変更する場合、名前に使用できるのは数字とアルファベットの小文字だけです。

## 12.3 シーケンサー再生オプション (PLAY OPTIONS モード)

シーケンサーモード選択画面で「PLAY OPTIONS」を選択すると、曲の再生の時に利用できるオプションが表示されます。

PLAY OPTIONS	
TRANSPOSER:	--
SONG LOOP:	OFF
LIST AUTOPLAY:	OFF
LIST LOOP:	OFF

- **TRANSPOSER** (トランスポーザー) : シーケンサーによって再生される曲の移調を半音単位で設定します。
- **SONG LOOP** (ソングループ) : この機能を「YES」に設定すると、曲が終了した時に、再び同じ曲を再生します。
- **LIST AUTOPLAY** (リスト自動再生) : ソングリスト機能の使用時にこの機能を「YES」に設定すると、曲が終了した時に、[FIELD ▼] を押さなくても自動的に次の曲が再生されます。
- **LIST LOOP** (リストループ) : この機能を「YES」に設定すると、ソングリストの最後の曲が終了した時に、自動的に最初の曲が再生されます。

## 12.4 ソングリスト (SONGLIST 機能)

ソングリスト機能により、曲 (MIDI ファイル) のリストを作成し、保存します。曲のリストを作成するには、FILE MANAG. メニューを呼び出し、「SONGLIST」を選択します。新規のソングリストを作成するか、既存のソングリストを編集するかを選択するメッセージが表示されます。

1	SONG LIST	↓
[6]		
[ NEW LIST ]		
000	_LIST1.LST	
001	_LIST2.LST	
002	_LIST3.LST	
USB PEN DRIVE		

[NEW LIST] フィールドを選択すると、新規のソングリストの作成、または LST ファイルを選択して既存リストの編集ができます。いずれの場合も、次のステップではリストに加える曲を選択します。

1	SONG LIST	↓
[12]		
000	_BACH	02
001	_INDUL	
002	_NUNLOB	01
003	_NUNFREU	
PRESS +/- TO SELECT		

[FIELD ▲]、[FIELD ▼] を使用して MIDI ファイルを選択し、[VALUE +] を押してリストに追加するか、[VALUE -] を押して削除します。リストの中のファイルの順番は、ファイルの名前の横に番号で表示されます。



## 12. 録音と再生 (SEQUENCER)

次に [ENTER] を押してソングリストの作成を続けるか、[EXIT] を押して中止します。[EXIT] を押すと、ソングリスト機能の終了を確認するメッセージが表示されます。



次のステップは、リストの中の曲の順番の編集です（またはすでに作成したリストを確認します）。



曲の順番を変更するには、[FIELD ▲] / [FIELD ▼] を使用して曲を選択し、[VALUE +] ボタンで順番を前に移動するか、[VALUE -] ボタンで順番を後ろに移動します。最後に [ENTER] を押してリストを保存するか、[EXIT] を押して前のページに戻ります。



MIDI ファイルの名前は、最初の 3 文字に入力できるのは数字のみです。名前を入力するには、[FIELD ▲] / [FIELD ▼] でカーソルを移動し、[VALUE +] / [VALUE -] ボタンで文字を選択します。名前を確認して [ENTER] で保存するか、または [EXIT] で前のページに戻ります。

### 注意:

コンピューターを使用して USB メモリースティックに保存されたファイルの名前を変更する場合、名前に使用できるのは数字とアルファベットの小文字だけです。

# 13. 付録

## 13.1 ストップのローカルオフ

ローカルオフモードに設定されたストップは、オルガンの内部システムからは音が再生されませんが、MIDI メッセージ（システムエクスクルーシブコード）が送信されるため、接続された楽器での演奏が可能になります。

ストップをローカルオフモードに設定するには、メインページを表示させ [S]（セット）ボタンを押しながら [C]（キャンセル）ボタンを押します。すべてのストップの LED が点灯し、ディスプレイに次のページが表示されます。



ボイスをローカルオフモードに設定するには、そのドローノブを引く、またはタブレットスイッチを押して LED を消します。希望する設定の状態、[S] および [C] を同時に押して保存します。

このあとローカルオフ設定機能にアクセスすると、ストップの状態について下記のような説明が表示されます。

- 点灯している LED：ストップはローカルオンモードです（内部システムによって再生されます）。
- 点灯していない LED：ストップはローカルオフモードです。

## 13.2 ファクトリーセッティング

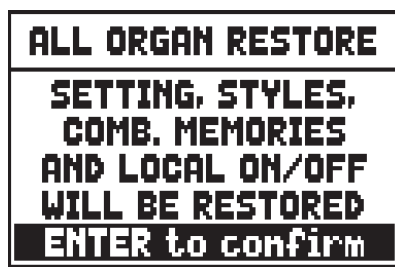
ファクトリーセッティングを行うと、オルガンの内部機能を全て工場出荷時の状態に復元し、ユーザーによる変更をすべてリセットすることができます。Unico オルガンでは、デフォルトの値にリセットする設定の箇所をユーザーが選択できます。この機能呼び出すには、UTIL. & MIDI メニューの 2 ページ目の画面にある「RESTORE FACT. SET」を選択します。



下記の設定のリセットが可能です。

- **ENTIRE ORGAN**（オルガン全体）：すべてのオルガンの設定および機能（チューニング、セットアップ、ユーティリティ& MIDI メニュー、4つのユーザースタイル、すべての全体/部分コンビネーション、トゥッティ、クレッシェンド、ストップのローカルオフ設定）。
- **SETTING PARAMETERS**（パラメーター設定）：チューニング、セットアップ、ユーティリティ& MIDI メニュー設定。
- **USER STYLES**（ユーザースタイル）：4つのユーザースタイル。
- **COMB. MEMORIES**（コンビネーションメモリー）：すべての全体/部分コンビネーション、トゥッティ、クレッシェンド。

必要な工場出荷時設定を選択して [ENTER] を押すと、リセットされる項目を示す警告画面がディスプレイに表示されます。



再び [ENTER] を押してリセットを開始します。実行中は「PERFORMING」のメッセージが表示され、完了すると「ACCOMPLISHED」のメッセージが表示されます。[EXIT] を押して終了します。

## ◆保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

### ●保証書

本機には、保証書がついています。  
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印、お買い上げ日」などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。

### ●保証期間

保証書をご覧ください。

### ●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

### ●保証期間後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。  
有寿命製品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。  
有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

#### 有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類  
接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ヒューズなど

### ●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

### ●修理のご依頼

異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへ修理をお申し付けください。

### ●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただく時は、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ◆修理に関するお問い合わせ

### ヤマハ修理ご相談センター

(全国共通番号) **0570 - 012 - 808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。

通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は、053-460-4830 におかけください。

受付時間 月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定  
休日を除く)

FAX

東日本

(北海道 / 東北 / 関東 / 甲信越 / 東海)

03 - 5762 - 2125

西日本

(沖縄 / 九州 / 中国 / 四国 / 近畿 / 北陸)

06 - 6649 - 9340

# viscount<sup>®</sup> Classic Organ

総輸入発売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン

<http://www.yamahamusicjapan.co.jp/>

楽器営業本部 マーケティング部 ピアノ・EKB課

〒108-8568 東京都港区高輪2丁目17-11

TEL : 03-5488-5442

大阪事業所

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-13-17 ナンバ辻本ニッセイビル

TEL : 06-6649-9101